

# 綾部市暮らしの便利帳 広告スポンサー募集

市は、市役所の業務・手続きなどの行政情報や観光スポットなどの地域情報を掲載した「綾部市暮らしの便利帳」の内容を改訂し、来年5月に発行する予定です。

この冊子は、広告収入をもとに発行するもので、市が情報を提供し、共働事業者の「株式会社サイネックス」が広告募集と印刷・製本を行い、市内各戸に配布します。

10月初旬から、同社が広告募集のため、市内事業所を訪問しますので、ご理解とご協力をお願いします。



※表紙はイメージです

<広告掲載の問い合わせ先>  
**サイネックス ☎075(315)0085**

問い合わせ 秘書広報課広報・広聴担当 ☎(42)4205

台風7号の被害を受けた。本市にとつて大きな被災となったのは5年前の西日本豪雨災害以来のこと。あの時は土砂崩落により3名の尊い命を失う悲しい夏となった。今回は人命に関わる惨事は避けられたものの、土砂による家屋倒壊や浸水、道路の崩落など大きな被害を被った。今後調査が進む中で農地や森林の被害は増えていくものと案じられる。犀川が越水した地域は5年前も同じような被害を受けており、心が痛む。重機を使った土砂の搬出に加え、連日の猛暑の中、多くのボランティアが泥出し作業等に汗を流してもらっている。

今回の災害に至った直接の原因は、台風本体というよりも渦巻の進路先に発生した降水帯で、時間90ミリを超える雨量の事前予測はなかった。この台風の当地への最接近は8月15日昼頃という予報で、前日の夜半に局地的大雨に見舞われるとは想定していなかった。本市の警戒対策本部もこの夜は翌日に備え要員を残して一旦家路についたのだが、その数時間後に大雨警報が出ることは想定外で「見えない低気圧」の発生が原因で極めて稀なケースと釈明した。今一つ釈然としない心地だが、改めて自然の恐ろしさを再認識すると同時に「想定外を想定しても想定外の事が起きる」という人知を超えた営みに翻弄される脅威を教訓として学んだ。文字通り「見えない敵」との闘いと言ってよからう。

山崎善也（綾部市長）

## 見えない敵



我々はこの3年間、別の見えない敵と闘ってきた。新型コロナウイルス感染症である。そして終息が見え始めた今日、本市は新たな試練と立ち向かわねばならない。まさに一難去つてまた一難、そして「見えない敵」恐るべし。それでも我々は次の難敵と対峙しつつ大切な故郷を次の世代に繋いでいかねばならない。まずは復旧活動を着実に一步一步進めていくことだ。

## 複合施設の愛称が

# 「あやテラス」に決定！



JR綾部駅北側に建設中の複合施設。11月23日に竣工予定



約12万冊を収蔵できる図書館。本の読み聞かせの部屋やゆったりと本の読めるスペースを充実

図書館、地域交流センター、子育て交流センターの3つの機能を備える複合施設の愛称が、綾部の未来を「照らす」施設「あやテラス」に決まりました。



地域交流センターは、大人数の会議や講演会、研修会の開催に加え、クータリングを伴う催しなど多目的に活用可能



子育て交流センターは▽幼児向けの「ベビー」▽知育玩具などを配置する「ロールプレイ」▽体を動かして遊ぶ「アクティブ」の3つのエリアに区分けし、障害の有無にかかわらず楽しめる遊具を設置

※写真はイメージ

## 695点の応募の中から決定

愛称は、市民に末永く愛され、広く活用してもらえよう、市内外に広く募集。246人から寄せられた、延べ695点の中から「テラス」のように人が集い、新たなつながりが生まれる場所「綾部市の未来を明るく照らす」施設「あやテラス」に決定しました。たくさんのご応募ありがとうございました。多くの人に親しまれる施設を目指します。

【考案者】  
**森本さやか さん（市内在住）**

【愛称理由】  
「あや」は、綾部市の新たなランドマークとして、利用する人々がさまざまな彩りを加えることをイメージ。「テラス」は、外観がテラスのような回廊になっている様子や、テラスのように人々が集まる施設になることを願って名付けました。



## ふるさとににぎわい戻る

旧口上林小学校（十倉志茂町）で8月11日、「YaiYaiこども夏祭り」が初開催。この行事は、口上林、山家両地区の出身者など11人で実行委員会を立ち上げ「とにかく地域の子どもたちが楽しめるように」との思いで企画されました。祭りでは、かき氷や唐揚げなどの屋台やスーパーボールすくい、会場に隠されたコインを探しお菓子と交換する宝探しゲームなど、子どもが楽しめる催しが満載。盆踊りや花火も行われ、訪れた多くの来場者でにぎわいました。東綾小学校4年生の四方恵仁志君は「新聞で見つけて行きたいと思った。今日は楽しすぎる!」と笑顔でした。



## ものづくりの基礎学ば

市や府などでつくる市ものづくり連携会議は8月17日、北部産業創造センター（青野町）で「綾部ものづくり体験ツアー」を開催。市内の小



学5、6年生26人が、マイナス200度の液体窒素を使った実験や、ハイスピードカメラの映像で水風船が割れる様子を観察するなど、ものづくりの基礎を学びました。粉末のセメントからペーパーウェイト（文鎮）を作った中筋小学校6年生の足立雄哉君は、「コンクリートは初めから硬いのではなく、粉を練ってできると知って意外だった。青いコンクリートが作れて面白かった」と話しました。



## 幻想的な光にうっとり



あやべグンゼスクエア（青野町）で8月11日から14日まで、「あやべ夏あかり」が行われました。初日の11日は、太鼓演奏がオープニングを飾り、

光る風船プールやコンサート、キッチンカーの出店などで来場者をもてなしました。15日に予定されていたあやべ盆踊り大会は台風7号の接近により中止になりましたが、期間中約7500人が来場し、色鮮やかなイルミネーションに魅了されました。



## バレーボールで楽しく交流!

あやべ・日東精工アリーナ（市民センター、西町三丁目）で8月20日、「Vリーグ選手と一緒にバレーボール教室」が開催されました。小学生約50人が、Vリーグ（バレーボールの日本国内最上位リーグ）に所属する「JTマーヴェラス」で活躍する、高橋茉莉奈選手と井上芙蓉選手からアドバイスを受け、ペアになってトスやスパイクなどを練習。児童は「トップ選手と一緒にバレーボールができてうれしい」



「教わったことを今後の練習や試合に生かしたい」と目を輝かせました。

# 白寿の祝い

## 99歳おめでとございます



朝子榮さん（野田町）



四方敏江さん（里町）



小西ハツエさん（梅迫町）

「百」の字から「二」を取ると「百」の字になることから、99歳は「白寿」と呼ばれています。市は毎年、年度内に白寿を迎える人に記念品を贈呈し、長寿をお祝いしています。

**今年46人**

敬老の日を前に、山崎善也市長は8月29、30日、白寿を迎える5人のお宅を訪問。記念品を渡し、長寿をお祝いしました。本年度の対象は大正13年4月2日から大正14年4月1日までに生まれた人。男性12人、女性34人の計46人（9月1日現在）で、次の皆さんです（敬称略・誕生日順・掲載了解者のみ掲載）。

- ▽千原富子（内久井町）▽白波瀬みち子（岡町）▽大槻榮（淵垣町）
- ▽村上隆太郎（物部町）▽小村たよ子（有岡町）▽安村志津江（上延町）▽大石博（白道路町）▽小西ハツエ（梅迫町）▽梅原鏡子（駅前通り）▽相根綾野（上杉町）▽渡邊禮子（物部町）▽安村幸子（宮代町）▽村上秀代（位田町）▽藤田トラ（七百石町）▽永井富士子（栗町）▽四方民子（武吉町）▽村上ヤエ（物部町）▽朝子榮（野田町）▽福井三千代（睦合町）▽四方敏江（里町）▽福田國三郎（上延町）▽四方三郎（物部町）▽岩崎悦子（田野町）▽白波瀬千鶴子（和木町）▽岩本セキノ（下八田町）▽眞宮マサエ（志賀郷町）▽梅原稔（味方町）▽八木好子（故屋岡町）▽泉二三枝（延町）▽廣瀬敏江（戸奈瀬町）▽新田静子（新庄町）▽高屋和子（大島町）▽森崎うた子（駅前通り）



渡邊禮子さん（物部町）



廣瀬敏江さん（戸奈瀬町）





私たちの心のふるさと、あやべ水源の里。その活動を順に紹介しながら、集落の元気のヒミツや日々を楽しく暮らすコツを探ります。

## 橋上の里

### 活動は人の和と共助で

橋上の里は、製品の製造販売などで活動していた地元グループの



収穫したキュウリの漬物作り作業を行う地域の皆さんと佐々木代表（後列右端）。佐々木代表は、あやべ水源の里連絡協議会の会長も務める



府が選定する「京都中用いのおし商品」にも選ばれたキュウリ漬。あやべ特産館や観光案内所などで購入できる

後継や集落の活性化を目的に、平成25年に発足。同会は始動に際し▽住宅▽景観▽産品―の活用を目標に部を設置しました。「住宅活用部」は空き家の調査や管理、情報誌の発行。「景観活用部」はサクラやサザンカの植樹や管理、上林川河岸の清掃、水が岩を削ったとされる奇岩「おう穴」の広報そして「産品活用部」はキュウリ漬やジャムの生産販売を担い交流人口の拡大や移住促進、橋上の里ファンの獲得などを目指します。佐々木幸雄さんは「人手不足で縮小していることもあるけれど、活動を通して住民同士が交流できるのはうれしい」と笑顔。「住民の和と共助を大切に、これからの活動を続けていきたい」と力強く語ります。

## 環境コラム

### 考えよう。私たちにできること

不法投棄は法律で禁止されています。自らの責任において、定められたルールに従ってごみ（廃棄物）を適正に処理しましょう。

### 不法投棄には厳しい罰則が

道路や公園、河川、森林などにみだりにごみを捨てたり、不適正に排出したりする不法投棄は、絶対に許されない行為です。

不法投棄をした人は、5年以下の懲役もしくは1千万円以下（法



タイヤの放置は、放火されたり蚊の発生原因になったりします

人の場合、3億円以下）の罰金、またはその両方の罰則が科せられます。

### 不法投棄されないための対策を

本市の令和4年度不法投棄の通報は11件で、そのうち私有地が8件でした。自分の所有地（管理地）に不法投棄が行われ、行為者が判明しない場合は、土地の所有者（管理者）がごみをクリーンセンターへ搬入することになります（一般廃棄物処理手数料は免除）。

不法投棄されないための対策として▽周囲にロープや柵を設置し、第三者が侵入できないようにする▽ごまめに草刈りを行い、きれいな状態にする▽常に土地の状況を把握する▽防犯カメラを設置する―などを行います。

不法投棄を発見したら、必ずそのままの状態を「投棄場所・投棄物・現場状況」を市クリーンセンター（環境保全課 ☎(42)1489へ連絡してください。

## シリーズ 人権を考える

### ⑰ うわさがもたらす影響

このコーナーでは、シリーズで人権に関する情報をお知らせします。

### 根拠のないうわさと人権侵害

近年、SNS等の普及で、根拠のないうわさが瞬く間に広がることが増えていきます。

根拠のないうわさは、個人や集団への誹謗中傷につながり、社会的な孤立感や心理的な苦痛を引き



起こすことがあります。例えば「Aさんには前科があるらしい」という根拠のないうわさを聞いた場合。そのうわさを他人に話すと、Aさんの名誉を傷つけ、発信者はもちろんのこと、拡散した人も罪に問われたり損害賠償を請求されたりする可能性があります。また、自分の投稿は誹謗中傷でなくても、そこに複数の書き込みが重なると深刻な誹謗中傷になります。

### 情報の正確性を重視しよう

うわさやデマは、人権に対する深刻な脅威です。根拠のないうわさやデマを見破り、広めないための鍵は、その情報は▽本当に正しいのか▽共有してもよいか▽不利益を受ける人がいるかも▽不利―と立ち止まって考えること。一人ひとりが他者の人権を尊重し、正確な情報に基づいた冷静な判断を心掛け、根拠のないうわさやデマを広げないようにしましょう。



### 今月の手話

### 一緒に



両手の人差し指を前に向け、左右から引き寄せて付ける

協力：京都府聴覚障害者協会綾部支部

綾部市・未来へつなぐ文化のおかろま推進事業

## 観覧者募集!! 京都市交響楽団 特別演奏会

日時 11月12日(日)午後3時開演 (午後2時30分開場)

会場 中丹文化会館(里町)

入場料 無料(入場招待券必要)

プログラム ベートーベン：ピアノ協奏曲第5番「皇帝」、交響曲第6番「田園」

申込方法 郵便往復はがきにて▽郵便番号▽住所▽氏名▽電話番号―を記入し、中丹文化会館へ。往復はがき1枚で2人まで申し込みできます。

あて先 〒623-0005 綾部市里町久田21-20 京都府中丹文化会館「京都市交響楽団特別演奏会」係

締め切り 10月15日(日)必着

※応募多数の場合は抽選。当選者には入場招待券を、落選者には落選通知を返送します。

<問い合わせ> 中丹文化会館 電話(42)7705 ファクス(42)7783